

戊辰の横浜 名もなき民の慶応四年 展示資料一覧

※番号と展示順序が一致しない場合があります。 ※実物資料・パネルの別は記していません。 ※展示期間が空欄の場合、会期中全日の展示です。

No.	タイトル	資料名	作者	指定	和暦年(西暦)月日	所蔵、写真提供	展示期間
プロローグ							
0-1	政権返上を告げる徳川慶喜	「大政奉還」	邨田丹陵画		昭和10年(1935)完成	聖徳記念絵画館蔵、写真提供	
0-2	大政奉還の上表文	「大政奉還奏上書・沙汰書(写)」			慶応3年(1867)	横浜開港資料館蔵(西池伸弥家文書)、写真提供	
0-3	村に伝わった大政奉還の情報	「鈴木藤助日記」			慶応3年(1867)10月	個人蔵	
1 戊辰戦争前夜							
1-1	萩野山中藩陣屋焼討	「鈴木藤助日記」			慶応3年(1867)12月18日	個人蔵	
1-2	明治に描かれた焼討事件の錦絵	「近世史略 薩州屋敷焼撃之図」	豊洲(歌川)国輝(三代)画		明治24年(1891)	神奈川県立歴史博物館蔵、写真提供	7/21(土)~8/19(日):パネル
1-3	脱走浪人、横浜を通行する	「逆徒追討御用留」		国指定重要文化財	慶応3年(1867)12月26日、29日	江川文庫蔵(江川家文書)、写真提供	
1-4	鶴見村からも見えた焼き討ちの煙	「千草」			慶応3年(1867)12月25日	鶴見神社蔵	
1-5	江戸市中と京都の戦争をうけ、江戸の出入口に関門が置かれる	「御用留」(池上新田)			慶応4年正月18日	川崎市市民ミュージアム蔵(池上家文書)	
1-6	非常時の人足は1軒につき1人	「御用留」(池上新田)			慶応4年正月28日	川崎市市民ミュージアム蔵(池上家文書)	
2 新政府軍が横浜にやってきた							
東海道軍の通行							
2-1	芳年が描いた鳥羽伏見の戦い	「皇国一新新聞誌 伏見の戦争」	月岡芳年画		明治9年(1876)	神奈川県立歴史博物館蔵、写真提供	7/21(土)~8/19(日):実物 8/21(火)~9/9(日):パネル
2-2	武州金沢藩に届いた鳥羽伏見の情報	「慶応四年 武州金沢藩目付日記」			慶応4年正月12日	当館蔵(武州金沢藩土款原家文書)	
2-3	鳥羽伏見の情報、長尾村へ伝わる	「鈴木藤助日記」			慶応4年正月11日、12日	個人蔵	
2-4	鶴見村の黒川荘三がみた、鳥羽伏見後の会津藩の人々	「千草」			慶応4年正月	鶴見神社蔵	
2-5	薩摩藩主の罪状を掲げる指示が出る	「御用留」(市場村)			慶応4年正月10日	個人蔵	
2-6	江戸総攻撃、中止となる	「官軍通行兵食御贈御用留」		国指定重要文化財	慶応4年3月15日	江川文庫蔵(江川家文書)、写真提供	
2-7	東海道先鋒総督 橋本実梁	「橋本実梁肖像」(「明治十二年明治天皇御下命『人物写真帖』より転載」)				宮内庁三の丸尚蔵館蔵	
2-8	東征大総督 有栖川宮熾仁親王	「有栖川宮熾仁親王肖像」			明治時代か	横浜開港資料館蔵、写真提供	
2-9	東海道先鋒総督一行の大通行	「御官軍様方御下向御触書并宿々より通達日記」			慶応4年3月	当館寄託(小岩井家文書)	
2-10	新政府軍の服装	「千草」			慶応4年3月27日	鶴見神社蔵	
2-11	「官軍」の証し、錦の御旗	「緑地錦旗 有栖川家伝来」				東京国立博物館蔵、写真提供	
2-12	数え15歳の少年が描いた東征大総督の行列	「大総督東下之図」	堀内郁之助画、堀内悠久詞書		慶応4年か	藤沢市文書館寄託(堀内家文書)、写真提供	7/21(土)~8/5(日):冒頭 8/7(火)~8/26(日):中間 8/28(火)~9/9(日):末尾
進軍の担い手・武州金沢藩米倉氏と伊豆葦山代官江川氏							
2-13	武州金沢藩主 米倉昌言	米倉昌言肖像(「明治十二年明治天皇御下命『人物写真帖』より」)				宮内庁三の丸尚蔵館蔵、写真提供	
2-14	武州金沢藩米倉氏、兵食取計、宿々警衛、人馬継立世話向を命じられる	「諸藩記録 六浦藩」			慶応4年2月18日	東京大学史料編纂所蔵、写真提供	
2-15	東征大総督通行時、武州金沢藩の宿駅出張メンバー	「慶応四年 武州金沢藩目付日記」>パネル			慶応4年4月11日	当館蔵(武州金沢藩土款原家文書)	
2-16	警衛のための備えが不足	「新政府軍通行につき書状」実物			慶応4年4月12日	当館蔵(武州金沢藩土款原家文書)	
2-17	伊豆葦山代官 江川太郎左衛門英武	「江川英武肖像写真」		国指定重要文化財		江川文庫蔵、写真提供	
2-18	伊豆葦山代官江川氏、兵食取計、宿々警衛、人馬継立世話向を命じられる	「御親征官軍通行につき兵食・人馬継立世話向命令沙汰書」		国指定重要文化財	慶応4年2月	江川文庫蔵(江川家文書)	
2-19	急使を立立て、宿駅へ知らせる	「覚」		国指定重要文化財	明治元年10月	江川文庫蔵(江川家文書)	
2-20	宿駅からの江川宛て請書	「御親征に付官軍兵食取計宿警衛人馬継立世話向を仰付」		国指定重要文化財	慶応4年3月	江川文庫蔵(江川家文書)	
2-21	各宿場に派遣された手代たち	「官軍通行兵食御贈御用留」		国指定重要文化財	慶応4年2月	江川文庫蔵(江川家文書)	
2-22	兵食取計、人馬継立世話向とは?	「官軍兵食贈方につき書状」			明治44年(1911)2月21日	江川文庫蔵(江川家文書)	
新政府軍と村々							
2-23	御贈御用、村々へ伝えられる	「御達書写」			慶応4年3月	当館蔵(渡辺家文書)	
2-24	村々への賦課内容、例外も認めず	「御用留」(市場村)			慶応4年3月	個人蔵	
2-25	実際の人馬差し出しが厳命される	「御用留」(市場村)			慶応4年3月	個人蔵	
2-26	増上寺領の村も御贈御用をつとめる	「差出申議定一札之事」			慶応4年3月12日	当館寄託(酒井家文書)	
2-27	川崎宿の「御贈方下役」たち	「官軍御贈掛出役休泊料并諸色入用書上帳」			慶応4年3月~閏4月	個人蔵	
2-28	綱島村、正人足を差し出す	「官軍御用人足遣払帳」			慶応4年	個人蔵	
2-29	御贈御用は遠方の村へも及ぶ	「御請印帳」			慶応4年3月	個人蔵	
2-30	品川宿の御贈御用も遠方の村々へ	「御用留」(下石原宿)			慶応4年3月17日	個人蔵、調布市総務部総務課保管(熊沢家文書)	8/21(火)~9/9(日)
2-31	遠方+他宿の御贈御用を勤める村々へも及ぶ	「御親征御用二付外宿方江人馬相勤候村々書上」			慶応4年3月	個人蔵	7/21(土)~8/19(日)

2-32	御賄御用の金子取り立て	「御賄御用途金取立方寄場村分帳」			慶応4年4月	個人蔵	
2-33	御賄御用の金子の受取証	「算」			慶応4年3月24日	個人蔵	当館蔵(北見家文書)
2-34	御賄御用の兵糧米取り立て	「兵食糶米取立方書上帳」			慶応4年5月	個人蔵	
2-35	御賄御用の兵糧米の受取	「御賄御用糶米請取」			慶応4年3月10日	個人蔵	
2-36	夜着、蒲団の供出	「御用留」(市場村)			慶応4年3月13日	個人蔵	
2-37	夜具蒲団と草鞋の供出	「御用留」(池上新田)			慶応4年3月13日、14日	個人蔵	川崎市市民ミュージアム蔵(池上家文書)
2-38	足洗い用のたらいの供出	「御用留」(下丸子村)		東京都指定有形文化財	慶応4年4月3日	個人蔵	個人蔵(平川家文書)
2-39	新政府軍通行中、多摩川の筏の通行を規制する	「御用留」(下石原宿)			慶応4年3月24日	個人蔵	個人蔵、調布市総務部総務課保管(熊沢家文書)
2-40	新政府軍、多摩川渡船場にも見張所を設けて警備する	「御官軍御宿陣中見張所入用御下ケ渡御請印帳」			明治2年(1869)	個人蔵	
2-41	多摩川渡船場には「御賄所」も設けられる	「御官軍御賄所入用其外共御下ケ渡御請印帳」			明治2年(1869)	個人蔵	
2-42	多摩川渡船場の継立人馬賃銭の下げ渡し	「御官軍御継立人馬賃銭御請印帳」			明治2年(1869)	個人蔵	
2-43	新政府軍、海岸部も取り締まる	「御用留」(池上新田)			慶応4年4月3日	個人蔵	川崎市市民ミュージアム蔵(池上家文書)
2-44	新政府軍、網島村に宿陣する	「御親征二付御官軍方御休泊御手当金穀御渡請印帳」			慶応4年4月	個人蔵	
2-45	宿陣所の賄い入用、支払われる	「官軍方宿陣賄入用につき書簡」			慶応4年7月10日	個人蔵	
2-46	宿陣所の入用の多(は消耗)	御賄所請入用控帳			慶応4年3月	個人蔵	
2-47	連絡の手段は「御用状」	「官軍御下向御用状留」			慶応4年	個人蔵	
2-48	新政府軍、矢倉沢往還も通行する	「乍恐以書付奉願上候」			明治元年か	個人蔵	当館寄託(青木家文書)
2-49	助郷の免除を歎願する	「乍恐以書付奉願上候」			慶応4年閏4月	個人蔵	神奈川県立公文書館寄託(武蔵国橋樹郡北網島村飯田家文書、2199300550)
2-50	新規の助郷指定を歎願する	「上」			慶応4年閏4月	個人蔵	当館蔵(中山村関係文書)
2-51	武州金沢藩、御賄御用金を返金する	「御用留」(神大寺村)			明治元年9月13日	個人蔵	神奈川県立公文書館蔵(「武蔵国橋樹郡神大寺村北村家文書」2199432085)
2-52	御賄御用の兵糧米、下げ渡される	「御用留」(池上新田)			明治2年(1869)7月	個人蔵	川崎市市民ミュージアム蔵(池上家文書)
2-53	川崎宿の御賄御用金、太政官札を交え、全額下げ渡し	「御官軍御賄御用途金御下ケ渡御請印帳」			明治2年(1869)	個人蔵	
2-54	市場村の御賄御用金も、全額下げ渡し	「御官軍兵食御賄入用御下ケ渡御請印帳」			明治2年(1869)	個人蔵	
2-55	多摩川渡船場の支出も太政官札で下げ渡される	「御官軍御賄入用御下ケ渡御請印帳」			明治2年(1869)	個人蔵	
2-56	川崎宿の入用は、宿役人や助郷惣代が立て替えた	「御官軍兵食御賄入用御下ケ渡金御請印帳」			明治2年(1869)	個人蔵	
2-57	御賄方下役添田七郎右衛門、苗字を許される	「苗字免状」			慶応4年8月	個人蔵	
2-58	長尾村の人足負担数は1000人以上	「辰去年村入目帳」			明治2年(1869)3月	個人蔵	川崎市公文書館写真帳より転載(長尾村井田家文書)
2-59	川崎宿の継立人足を一度もつとめなかった鈴木藤助	「鈴木藤助日記」			慶応4年3月29日	個人蔵	
2-60	保土ヶ谷宿での薩摩藩と武州金沢藩	「慶応四年懐中覚 五番」			慶応4年3月6日	個人蔵	横浜開港資料館寄託(堤真和家文書)、写真提供

3 幕府代官編成の農兵―「網島農兵隊」と「川崎農兵隊」

結成とその背景

3-1	農兵取立を建議した江川太郎左衛門英龍が描いた訓練	「銃兵・砲兵写生下図」	江川英龍画				江川文庫蔵(江川家文書)、写真提供
3-2	農兵取立を実現させた当主江川太郎左衛門英敏	「江川英敏肖像写真」	中浜万次郎撮影	国指定重要文化財			江川文庫蔵(江川家文書)、写真提供
3-3	武州世直し、横浜へ?	「御用留帳」			慶応2年(1866)6月15日	個人蔵	神奈川県立公文書館蔵(武蔵国橋樹郡神大寺村北村家文書、2199432082)
3-4	網島村寄場組合、多摩川渡船場の防衛分担を日野宿寄場組合に提案する	「打毀乱妨人防禦用書状」			慶応2年(1866)6月16日	個人蔵	国文学研究資料館蔵(武蔵国多摩郡連光寺村富沢家文書)
3-5	「日野宿農兵隊」は出張中	「打毀乱妨人防禦用書状」			慶応2年(1866)6月16日	個人蔵	国文学研究資料館蔵(武蔵国多摩郡連光寺村富沢家文書)
3-6	日野宿寄場組合、多摩川渡船場防衛分担を承諾する	「打毀乱妨人防禦用書状」			慶応2年(1866)6月17日	個人蔵	国文学研究資料館蔵(武蔵国多摩郡連光寺村富沢家文書)
3-7	武州世直し時の入用	「日野宿農兵諸入用立替控帳」			慶応2年(1866)3月～3年9月	個人蔵	日野市立新選組のふるさと歴史館蔵
3-8	網島村、多方面と連絡を取りつつ世直しに対応	「秩父郡乱妨人乱入いたし候二付手配方人数覚」			慶応2年(1866)	個人蔵	神奈川県立公文書館寄託(武蔵国橋樹郡北網島村飯田家文書、2199300117)
3-9	長尾村では焚き出しにて網島勢に協力	「鈴木藤助日記」			慶応2年(1866)6月16日	個人蔵	
3-10	網島村寄場組合、農兵取立を願ひ出る	「乍恐以書付奉願上候」			慶応2年(1866)7月	個人蔵	神奈川県立公文書館寄託(武蔵国橋樹郡北網島村飯田家文書、2199301234)
3-11	農兵取立以前から鉄砲を持っていた網島村寄場組合	「御用留帳」			慶応2年(1866)6月21日	個人蔵	神奈川県立公文書館蔵(武蔵国橋樹郡神大寺村北村家文書、2199432081)
3-12	農兵取立を許可する達書	「御用留」(南網島村)			慶応3年(1867)1月18日	個人蔵	
3-13	「網島農兵隊」の構成員の実際	「農兵御取立二付書上帳」			慶応2年～3年(1866～67)	個人蔵	
3-14	川崎宿寄場組合、農兵取立につき話し合う	「御用留帳」(東京都指定有形文化財)			慶応2年(1866)8月10日	個人蔵	個人蔵(平川家文書)

3-15	川崎宿寄場組合、農兵取立を願ひ出る	「農兵御取立之儀二付乍恐以書付奉申上候」			慶応2年(1866)9月	個人蔵	
3-16	「川崎農兵隊」取立許可は「綱島農兵隊」と同時	「御用留」(市場村)			慶応3年(1867)1月18日	個人蔵	
3-17	「川崎農兵隊」の鉄砲拝借願書	「農兵御取立之儀二付御追願御歎願書」			慶応3年(1867)4月14日	個人蔵	
農兵隊の活動							
3-18	「綱島農兵隊」、組合村内をパトロールする	「御用留」(神大寺村)			慶応3年(1867)3月	神奈川県立公文書館蔵(武蔵国橋樹郡神大寺村北村家文書、2199432083)	
3-19	「日野宿農兵隊」にみる支出品目	「日野宿組合農兵訓練諸入用割合帳」			慶応元年(1865)3月	日野市立新選組のふるさと歴史館蔵	
3-20	「綱島農兵隊」弾薬のために共同出資	「御用留」(南綱島村)			慶応3年(1867)2月未か	個人蔵	
3-21	「綱島農兵隊」幕府代官の訓練見分	「御用留」(勝田村)			慶応3年(1867)10月2日	個人蔵	
3-22	「綱島農兵隊」、代官に戦力と見なされ、増員する	「御用留」(神大寺村)			慶応3年(1867)11月2日	神奈川県立公文書館蔵(武蔵国橋樹郡神大寺村北村家文書、2199432084)	
3-23	「綱島農兵隊」、薩摩藩邸焼討事件の浪人を捕縛する	「御用留」(下石原宿)			慶応3年(1867)	個人蔵、調布市総務部総務課保管(熊沢家文書)	
3-24	「川崎農兵隊」の教授役が来訪	「御用留」(池上新田)			慶応3年(1867)3月	川崎市市民ミュージアム蔵(池上家文書)	
3-25	入門者は礼金と稽古着支度代を支払う	「農兵隊出金請払覚帳」			慶応3年(1867)	個人蔵	7/21(土)～8/19(日)
3-26	入門記念にレセプションも開催	「農兵隊一件領高掛り勘定帳」			慶応3年(1867)	個人蔵	8/21(火)～9/9(日)
3-27	「川崎農兵隊」の鉄砲拝借	「御用留」(市場村)			慶応3年(1867)8月24日	個人蔵	
3-28	「川崎農兵隊」、開港場や遊歩区域内の警衛も命じられる	「御筒拝借願下書写」			慶応3年(1867)	個人蔵	
3-29	「川崎農兵隊」の服装、装備	「農兵隊衣類積控」			慶応3年(1867)	個人蔵	
3-30	「川崎農兵隊」の服装	「御用留」(下丸子村)	東京都指定有形文化財	慶応3年(1867)11月1日	個人蔵(平川家文書)		
3-31	農兵隊の装備、葦山笠	「葦山笠」	国指定重要文化財	江戸時代か	江川文庫蔵、写真提供		
3-32	農兵隊の装備のイメージ	『イェストラシオン』挿絵		1894年9月29日	横浜開港資料館蔵、写真提供		
3-33	「川崎農兵隊」の訓練場所	「御用留」(市場村)			慶応3年(1867)10月	個人蔵	
3-34	「川崎農兵隊」、薩摩藩邸焼討事件後に多摩川渡船場などを警衛する	「御用留」(市場村)			慶応3年(1867)12月26日	個人蔵	
3-35	鳥羽伏見後、有事に備え農兵差出し方を取り決める	「非常入足差出し方二付申合議定」			慶応4年(1867)2月	個人蔵	
3-36	慶応4年に行われた訓練見分	「御用留」(池上新田)			慶応4年3月5日	川崎市市民ミュージアム蔵(池上家文書)	
3-37	「日野宿農兵隊」、横浜で鉄砲を購入	「佐藤彦五郎日記」			慶応4年1月25日	日野市立新選組のふるさと歴史館蔵	
3-38	長尾村出身の「日野宿農兵隊」重蔵	「日野宿組合農兵名前書上帳控」			慶応元年(1865)9月	日野市立新選組のふるさと歴史館蔵	
3-39	農兵隊の銃、ゲベール銃	「雷管式ゲベール銃(雷管式前装滑腔銃)」	国指定重要文化財			江川文庫蔵、写真提供	
新政府軍の鉄砲回収							
3-40	農兵隊不参加の村でも鉄砲を持っていた	「乍恐以書付奉申上候」			慶応3年(1867)8月17日	当館蔵(信田家文書)	
3-41	鉄砲所持状況取り調べと回収実施を知らせる廻状	「覚」			慶応4年3月19日	神奈川県立公文書館寄託(武蔵国橋樹郡北綱島村飯田家文書、2199300026)	8/21(火)～9/9(日)
3-42	鉄砲所持状況の取り調べ	「備州隊長御宿陣草野治郎左衛門様より組合村々鉄砲短筒所持ものにつき」			慶応4年3月21日	神奈川県立公文書館蔵(武蔵国都筑郡上白根村高橋家文書、2199519481)	7/21(土)～8/19(日)
3-43	農兵隊に含まれない村からも回収	「鈴木藤助日記」			慶応4年3月17、25日	個人蔵	8/21(火)～9/9(日)
3-44	農兵隊に含まれない村からも回収	「御用留」(王禅寺村)			慶応4年4月3日	個人蔵、神奈川県立公文書館写真提供	7/21(土)～8/19(日)
3-45	獣害対策用の銃を申告しなかった綱島村寄場組合、草野に謝罪する	「乍恐以書付奉歎願候」			慶応4年3月	神奈川県立公文書館寄託(武蔵国橋樹郡北綱島村飯田家文書、2199300119)	
3-46	農兵隊の衣服も回収された	「農兵衣類取集帳」			慶応4年3月17日	個人蔵	
3-47	鉄砲回収を担った岡山藩の記録	「慶応四戊辰年官軍先鋒戦争日記備誌録」			慶応4年3月	岡山県立図書館蔵、写真提供:岡山県立図書館電子図書システム「デジタル岡山大」	
3-48	市場村が差し出した鉄砲のリスト	「備前様御内衆御鉄砲印紙控」			慶応4年3月	個人蔵	
3-49	火薬も回収、不提出者は罰する徹底ぶり	「乍恐以書付御歎願奉申上候」			慶応4年4月	神奈川県立公文書館蔵(武蔵国橋樹郡上作延村三田家文書、2200432935/2200432)	
4 治安と支配—上野戦争前後							
新政府の支配、はじまる							
4-1	旗本知行所長津田村の、江川太郎左衛門宛て返答書	「乍恐以書付奉申上候」	国指定重要文化財		慶応4年4月	江川文庫蔵(江川家文書)、写真提供	7/21(土)～8/19(日)
4-2	上作延村、新政府軍の岡山藩宛てに願書を提出	「乍恐以書付奉願上候」			慶応4年5月	神奈川県立公文書館蔵(武蔵国橋樹郡上作延村三田家文書、2200432936)	8/21(火)～9/9(日)
4-3	旧幕府代官松村忠四郎、武蔵国地県事となる	「御用留」(市場村)			慶応4年7月29日	個人蔵	
4-4	武蔵国地県事、松村から古賀一平へ交代	「御用留」(市場村)			慶応4年8月15日	個人蔵	

4-5	神奈川十里四方、神奈川府の支配となる	「御用留」(市場村)			慶応4年8月晦日	個人蔵	
4-6	新政府の民衆に対する最初の法令	「五榜の掲示」			慶応4年3月	当館蔵	
4-7	旗本たちの行く末	「慶応四年懐中覚 六番」			慶応4年7月	横浜開港資料館寄託(堤真和家文書)、写真提供	
4-8	長津田村の領主、旗本岡野氏の帰農	「帰農届」			明治元年10月	個人蔵	
旧幕府諸勢力と村々							
4-9	江戸城明け渡しを描く	「徳川家十五代之將軍慶喜公謹依之慶応四辰年四月十一日且卯ノ上刻西城奉還之図」	真斎芳洲(歌川芳富)画		慶応4年	神奈川県立歴史博物館蔵、写真提供	7/21(土)~8/19(日):パネル 8/21(火)~9/9(日):実物
4-10・11	旧幕府諸勢力、村々へ米・金を要求	「鈴木藤助日記」			慶応4年閏4月27日、5月3日	個人蔵	
4-12	鈴木藤助日記に記された旧幕府勢力の動向	「鈴木藤助日記」より作成					
4-13	生麦村から見た上野の戦火	「附込日記帳」			慶応4年5月15日	横浜開港資料館蔵(関口日記)	
4-14	激戦、上野戦争	「東叡山文珠楼焼討之図」	月岡芳年画		明治7年(1874)	当館蔵	
4-15	飛び交う銃弾と砲弾	「明治元戊辰年五月一五日東台大戦争図」	永島(歌川)芳虎画		明治23年(1890)	神奈川県立歴史博物館蔵、写真提供	7/21(土)~8/19(日):実物 8/21(火)~9/9(日):パネル
4-16	戊辰戦争で盛んに使われた銃	「エンフィールド銃(アルビニ一銃)」			1868年製造	当館蔵	
旧幕府と新政府の風聞・諷刺							
4-17	市川・船橋の戦闘の風聞	「慶応四年懐中覚 五番」			慶応4年閏4月6日	横浜開港資料館寄託(堤真和家文書)、写真提供	
4-18	上野戦争の風聞	「鈴木藤助日記」			慶応4年5月16日	個人蔵	
4-19	会津藩をたたえる 会津蠟燭の引札	「慶応四年懐中覚 五番」			慶応4年閏4月	横浜開港資料館寄託(堤真和家文書)、写真提供	7/21(土)~8/19(日)
4-20	新政府軍を諷刺「錦旗勅命丸」の引札	「鈴木藤助日記」			慶応4年5月11日	個人蔵	
4-21	新政府軍を諷刺する替え歌	「慶応四年懐中覚 六番」			慶応4年5月	横浜開港資料館寄託(堤真和家文書)、写真提供	8/21(火)~9/9(日)
4-22	錦切	「戊辰官軍肩章」			慶応4年	東京大学史料編纂所蔵、写真提供	8/21(火)~9/9(日)
4-23	新政府軍と旧幕府軍の攻防を、こどもの遊びに見立てる	「幼童遊び子をところどころ」	歌川広重(三代)画		慶応4年	神奈川県立歴史博物館蔵	8/21(火)~9/9(日)
4-24	江戸開城直前の状況を三味線教室に見立てた錦絵	「当世三筋のたのしみ」			慶応4年	当館蔵	7/21(土)~8/19(日)
4-25	非日常の中、日常生活は続く	「鈴木藤助日記」			慶応4年8月	個人蔵	
エピソード 天皇東幸							
5-1	東幸に先立つ道筋調査と整備	「御用留」(市場村)			明治元年9月16日	個人蔵	
5-2	天皇東幸でも「御用留」が任命される	「御用留」(池上新田)			明治元年10月6日	川崎市市民ミュージアム蔵(池上家文書)	
5-3	継立人足の目印	「御用留」(王禅寺村)			明治元年10月か	個人蔵、神奈川県立公文書館写真提供	
5-4	厠の雨覆いや踏み段を新築	「御東幸二閑スル記録」			明治元年か	個人蔵	7/21(土)~8/19(日)
5-5	さまざまな設備が修繕される	「御行幸二付御旅宿所々取繕御入用帳」			明治元年10月11日	個人蔵	8/21(火)~9/9(日)
5-6	生麦村、東幸の休憩所となる	「附込日記帳」			明治元年10月1日、5日	横浜開港資料館蔵(関口日記)	
5-7	天皇が休憩した保土ヶ谷宿の、関係設備預かり証	「御風撃所其外御預被仰請書」			明治元年10月12日	個人蔵	
5-8	夜具・蒲団、天皇東幸でも徴発される	「御用留」(池上新田)			明治元年10月2日	川崎市市民ミュージアム蔵(池上家文書)	
5-9	村々から徴発された夜具蒲団	「御臨幸二付夜具蒲団差出帳」			明治元年10月	個人蔵	
5-10	天皇還幸の綱島村の継立人足	「御還幸二付出人足遣払帳」			明治元年12月	個人蔵	
5-11	近隣の人々は御通撃を拝することができた	「御用留」(市場村)			明治元年10月7日	個人蔵	
5-12	孝行者、奇特の者などを取り調べる	「御用留」(池上新田)			明治元年9月	川崎市市民ミュージアム蔵(池上家文書)	
5-13	「奇特之者」を賞する	「御用留」(市場村)			明治元年10月13日	個人蔵	
5-14	明治天皇、多摩川を渡る	「武州六郷船渡図」	月岡芳年画		明治元年	神奈川県立歴史博物館蔵、写真提供	
5-15	江戸城に向かう天皇と江戸の群衆	「東京府御東幸行烈図」	孟斎(歌川)芳虎画		明治2年(1869)	神奈川県立歴史博物館蔵、写真提供	7/21(土)~8/19(日)
5-16	速報錦絵 御風撃が京橋を通過!	「東京府京橋ヨリ呉服橋ノ遠景」	一曜斎(歌川)国輝(二代)画		明治元年	神奈川県立歴史博物館蔵、写真提供	8/21(火)~9/9(日)
5-17	「御風撃所」の材木で神社を修繕	「御風撃所御取崩材木ヲ以テ神明社殿修繕願」			明治元年11月	個人蔵	
5-18	内侍所仮殿の材木も神社修繕へ	「御内侍所御假殿其他御請書」			明治元年12月10日	個人蔵	
5-19	武州金沢藩、東幸に際して銃隊訓練を強化する	「慶応四年 武州金沢藩目付日記」			明治元年10月16日	当館蔵(武州金沢藩土蔵家文書)	